

スポーツ振興投票等業務に係る 令和 8 事業年度事業計画等の概要について

1 運営の基本方針

引き続きスポーツ振興くじの安定的な売上の確保に努め、スポーツ振興くじの対象となる国内リーグの発展に向けた取組を行うとともに、地域スポーツの振興に関するニーズ等を踏まえ、安定的・計画的かつ効果的な助成を行うなど、これまで以上にスポーツ振興投票等業務が地域スポーツの振興を図る上で重要な役割を果たしていくために、以下の取組を積極的かつ効率的に進めていく。

(1) スポーツ振興くじの安定的な売上の確保

- ①スポーツ振興くじの売上目標として、1,400億円を設定する。
- ②広告宣伝の効果を継続的に検証した上で、より効果的・効率的な実施に努める。
- ③スポーツ振興くじを安心してお楽しみいただけるよう、依存症対策に関する自主的な取組を実施するなど、くじの公正性の確保に努める。
- ④スポーツ振興くじの販売を通じ、国内リーグの発展を目的とした取組を実施する。

(2) 地域スポーツの振興のための効果的な助成

スポーツを通じた地域活性化に資する全市区町村向けの支援制度の創設やニーズ把握等による助成メニューの見直しを行うとともに、適正な事業執行に関する取組を実施する。

(3) スポーツ振興投票制度の趣旨の普及・浸透

スポーツ振興投票制度が、我が国のスポーツ振興に重要な役割を果たしていることについて国民の理解を深めるため、各種メディア等を活用し情報発信を行う。

(4) スポーツ振興投票等業務の効果的・効率的な運営

コンサルタントとの統合経営チームを設け、民間の経営手法を十分活用し戦略的な売上拡大施策に取り組むほか、くじの販売・払戻システムの安定的な運用及び助成金の電子申請システムの開発検討など、効果的・効率的な業務運営を行う。

2 収入支出予算

【投票事業収入（内訳）】

くじ売上収入	1,400 億円
時効金等収入	3 億円
端末利用料等収入	3 億円
積立金取崩額	87 億円

【投票事業支出（内訳）】

・払戻金（売上の 50%）	700 億円
・運営費（積立金取崩額 87 億を含む）	382 億円
・特定業務勘定へ繰入（売上の 5%）	70 億円
・助成財源	222 億円
・国庫納付金	111 億円
} 収益	